

クク（カンビオ）

プレイ人数：6～12名（推奨8～10名）

■目的

自分が脱落せずに最後まで生き残ること。

誰かがチップを払えなくなった時に、1番多くのチップを持っているプレイヤーが勝利。

■準備

1. チップを各プレイヤー15～25枚程度用意する。
時間がない場合など短縮で行うなら10枚でも可。

目安としてチップ20枚でのプレイ時間は約1時間。

2. ジャンケンなどで親を決める。公式にはカードを引き、一番強いカードを引いたプレイヤー（この場合道化は最強と見なす）が1ラウンド目の親となり、座る席を決める。そこから反時計回りにカードの強い順に座る。

■ゲーム手順

1. 1ラウンド目は全員が参加費1チップを場に出す。
この場のチップをまとめたものをポッドと呼ぶ。

2. 親は全員に1枚のカードを裏向きに配り、配られたカードを他人に見えないように確認したら「どうぞ」と宣言します（クク宣言（後述）はこれ以降に行う）

3. 親の右隣のプレイヤーから反時計回りに右隣のプレイヤーに「カンビオ（もしくはチェンジ）」か「ノンカンビオ（もしくはノーチェンジ）」を宣言します。

4. 親が交換を行う場合は、右隣のプレイヤーではなく、山札との交換を行う（交換は1回だけ）

5. 全員の交換が終わったら、手札をオープンし1番弱いカードのプレイヤーが失格。使用したカードは山札がなくなるまで混ぜずに、表にして捨て札の山に置く。

6. チップの支払いなどを行い、親を右隣のプレイヤーに移して次のラウンドを2.からはじめる。

7. 最後まで生き残ったプレイヤーがポッドに溜まったチップを総取りする。

8. 誰かがチップを払えなくなったらゲーム終了。

■失格の扱いとチップの支払いについて

1～3ラウンドまでは、最下位含む失格になったプレイヤーはそのラウンドに等しいチップをポッドに支払い復帰する。

4ラウンド以降は、最下位含む失格になったプレイヤーは復帰せず、最後の1人になるまで行う。

■特殊カード（カードを公開し能力を使う）

A. クク（8人以上の場合は1枚だけ使用する）

交換中以外の好きなタイミングで「クク」と宣言する事でその場で全員の手札をオープンして勝負する事ができる。チェンジに対しては「クク」を宣言できず交換しなくてはいけないので、余裕を持って宣言すること。

B. 人間

交換を申し込んだプレイヤーをその場で失格させる。

C. 馬・家

交換に対し「パス」を宣言し、自分の右隣の人のカードと交換を宣言してきたプレイヤーのカードを交換させる。

D. 猫

交換に対し「ニャオ」と宣言し、その交換を宣言してきたカードの1番最初の持ち主を失格にする。交換しない。

E. 道化

交換に対してこのカードを公開して交換する。このカードを受け取ったプレイヤーは失格になる。また、チェンジを宣言し交換が成立した場合も、このカードを公開して交換し、受け取ったプレイヤーが失格になる。

山札からこのカードを引いた場合、ククのカードよりも強い最強のカードとして扱う。

カード交換条件など

	交換を要求されたら	交換を要求した人は	山札から引いたら	備考
15 クク	交換する	交換成立	交換しない。交換前のカードで勝負する	いつでも「クク」と宣言する事でオープン請求できる
14 人間	交換しない	失格	失格	交換に対して「汝滅びよ(もしくは失格)」と宣言
13 馬		更に右隣の人と交換	もう1枚めくる	交換に対して「ヒヒーン！(もしくはパス)」と宣言
12 猫		交換するカードの1番最初の持ち主が失格	交換するカードの1番最初の持ち主が失格	交換に対して「ニャオ！」と宣言
11 家		更に右隣の人と交換	もう1枚めくる	交換に対して「留守です(もしくはパス)」と宣言
数字札	交換する	交換成立	交換成立	バケツ・お面・ライオンも数字札と同じ扱い
-4 道化	交換する	失格	最強	交換でこのカードを受け取った人も即失格となる